



1 ねらい

新しい都を築いた桓武天皇のはたらきについて調べることを通して、当時の都（平城京と平安京）の様子や人々の暮らしについて学ぶ。

2 授業の流れ

1 導入・視聴前のポイント（5分）

- ・桓武天皇が都を奈良から京都に移したことを伝え、どのような理由から都を移したのか予想させる。
※既習事項である聖武天皇が次々と都を移したことを想起させながら予想を立てさせる。

2 学習課題の提示

桓武天皇は都を移すことで、どのような国づくりを目指したのだろう。

3 番組視聴 ワークシート1（15分）

- ・「都を移すことになった理由や人々はどのような暮らしをしていたのか」という点に気を付けさせながら番組を視聴させ、時代背景や桓武天皇の思いやはたらきをワークシート1にメモさせる。

4 情報整理 ワークシート2（15分）

- ・ワークシート1のメモや「ドキリ・ポイント」を手がかりさせながら、当時の都（平城京と平安京）の様子や人々の暮らしについて、ワークシート2に整理させる。
★都を移すことになった背景をとらえさせる。
★桓武天皇の平安京（都を移すこと）に対する思いや願いにも言及する。
※ワークシート2は、ペアや小グループ、学級全体で整理するなど、児童の実態に応じて行う。

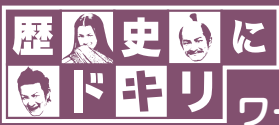
5 まとめ ワークシート3（10分）

- ・学習課題について、ワークシート3に自分の考えをまとめさせる。
・自分の考えを発表し考えを共有させる。


3 評価のポイント

- ・桓武天皇は都を移すことで、どのような国づくりを目指したのかワークシート3にまとめている。
(興味・関心…主にワークシート3)

ワークシート例



歴史に
ドッキリ
ワークシート



かんむ てんのう
桓武天皇 ~平安京の誕生と人びとの暮らし~

くみ なまえ

学習課題

桓武天皇は都を移すことで、どのような国づくりを目指したのだろう。

1 桓武天皇が行ったことや都の様子、人々の暮らしについて分かったことをメモしよう。

都を移す=政治、平和、人々のため
桓武天皇:奈良時代の都、平城京の最後の天皇
貴族の生活は、各地からの特産物で支えられていた(木簡から)
地方の農民は、しっそな食事、そまつな家、重い税
有力な貴族たちの勢力争い・権力をもった僧りよ
=国が乱れた
→京都へ都を移す=平安京(安らかで平和な新たな国づくり)
政治は天皇中心に貴族が行う
貴族=寝殿造の屋敷に住む
生活のための基盤:港、市、堀

ドッキリ★ポイント

- ①桓武天皇は乱れた政治を立て直すため、奈良から京都に都を移した。
- ②平安京には港や市・堀など生活基盤が整備された。

2 当時の都の様子や人々の暮らしについて整理しよう。

平城京

貴族の生活
各地からの特産物で支えられていた
食事:さけ、あわび(木簡)

農民の生活
食事:玄米、青菜の汁、塩
そまつな家(たて穴住居)
重い税(万葉集より)

世の中の様子
貴族たちの勢力争い =国が乱れた
権力をもった僧りよ

平安京

○政治=天皇中心に貴族が行う
都の様子
・貴族は寝殿造の屋敷に住む
・生活のための基盤
港(津):大量の食料や物資
市(東西):人々に供給
堀(東西):水の供給と洪水を防ぐ

平安京は平安時代の都として
およそ400年栄えた。

都を移す
乱れた政治を立て直す
ため

3 桓武天皇は都を移すことで、どのような国づくりを目指したのだろう。
自分の考えをまとめよう。

権力をもった僧りよたちが政治に口を出すようになり国が乱れた。
そこで、桓武天皇は乱れた政治を立て直すために、都を京都に移し平安京をつくり、
天皇が中心に貴族が政治を行う新しい国づくりを行った。
このようなことから桓武天皇は、聖徳太子や聖武天皇が築いてきた
「天皇を中心とした政治」を守り、平和で安らかな国づくりを目指したのだと考えた。

